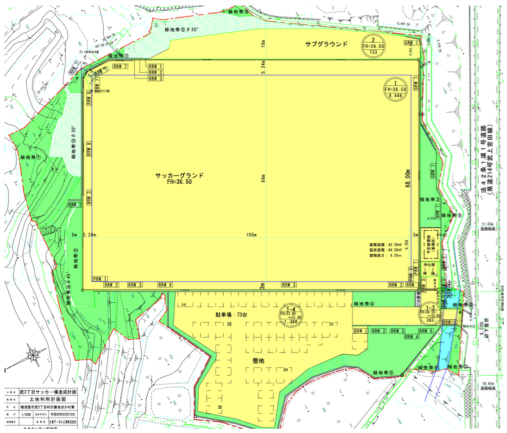
新規整備サッカー スタジアム

ネーミングライツ（命名権）スポンサーの募集

神奈川県内では希少となる民間サッカーグラウンド（人工芝ナイター完備）が2024年にオープンを迎えます（皆様の応援を宜しくお願いいたします）



（責任者）

株式会社 横須賀フットサルパーク
株式会社 ライオンズランド
一般社団法人 ライオンズSC
代表 臼杵尊士

目次

ネーミングライツ（命名権）とは・・・・1

ネーミングライツ（命名権）に期待できる効果・・・・2

サッカースタジアムの先行事例・・・・3

施設紹介（新規サッカー スタジアム）・・・・4

施設の活用スケジュール・・・・5

施設の利用者数と推移・・・・6

ネーミングライツ（命名権）スポンサー募集について・・・・7

スポンサー特典・・・・8

応募資格・・・・12

選定方法・・・・12

応募方法等・・・・13

弊社ご紹介・・・・14.15

グラウンドの活用・地域活性化プロジェクト・・・・16

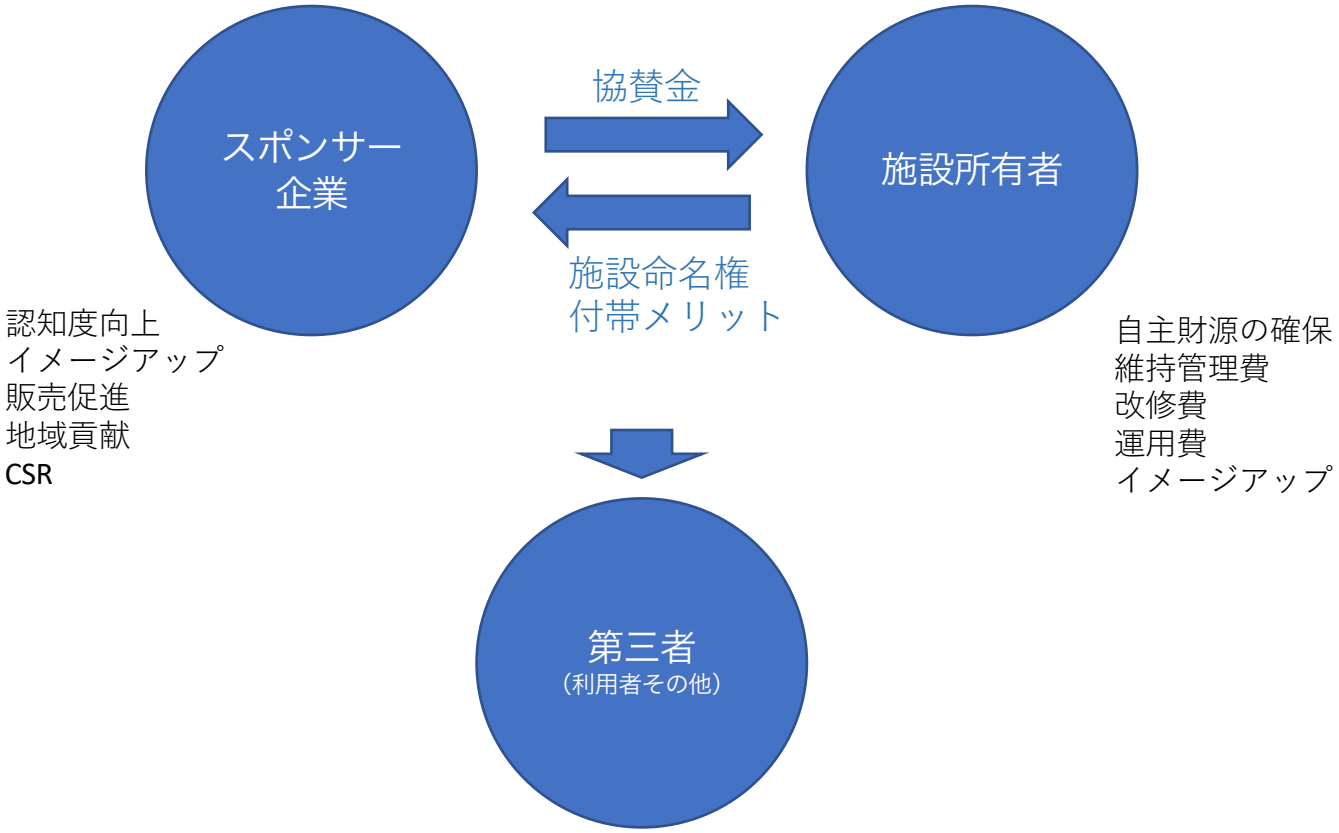
1． ネーミングライツ（命名権）とは

効果的な広告・PR／企業ブランディング手法として
公共施設のネーミングライツ（命名権）が注目されています

多くの人が来場し、情報発信力の高いイベントが開催されるスポーツ施設等の名称は、それ自体が大きな媒体価値を有しています。
「ネーミングライツ」（命名権）とは、こうした施設名称が持つ媒体価値や地域でのシンボル的な価値に着目し、その名称にスポンサー事業者の事業者名やブランド名を付与する権利を扱うスポンサーシステムです。

ネーミングライツ（命名権）を活用することで、スポンサー、施設所有者、付随する第三者間で、下図のように、各々にメリットのある良好な関係を構築することが可能となります。

■ネーミングライツ（命名権）導入の枠組み



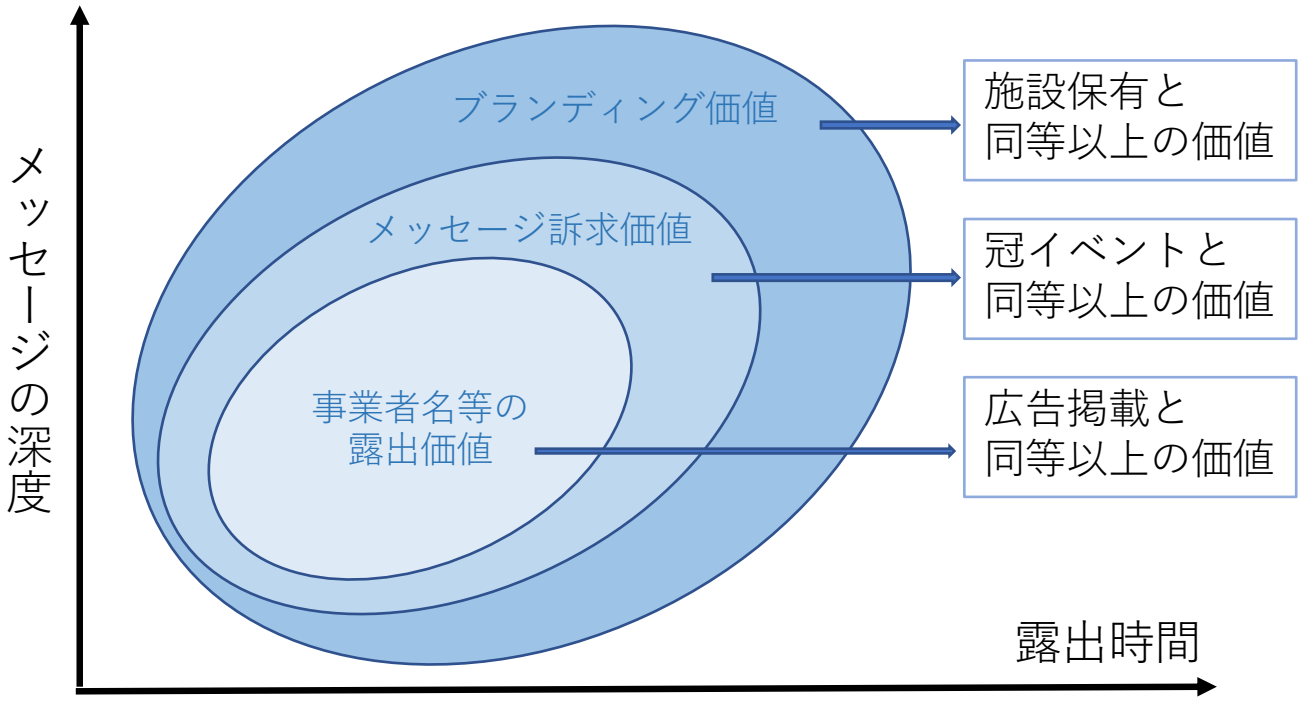
2． ネーミングライツ（命名権）に期待できる効果

スポンサーにとってのネーミングライツ（命名権）の期待効果は広告・PRから地域貢献の具現化まで、幅広い領域に及びます

ネーミングライツ（命名権）のスポンサーは、情報発信力を有する施設の名称に事業者名やブランド名を付与することで、その施設が持つ媒体価値を最大限に活用したコミュニケーション戦略を展開することができます。

また、付帯するスポンサー特典の条件によっては、来場者に対するセールスプロモーション活動の展開など、直接、間接的に様々なメリットを享受することも可能となります。

■スポンサーにとってのネーミングライツ（命名権）の価値



社名（商品名）露出価値	メッセージ訴求価値	ブランディング価値
マス媒体をはじめ、イベントの関連媒体等といった様々な媒体で事業者名（商品名）が露出する機会を得ることができます。	冠スポンサーイベントと同様に、スポーツイベントやエンターテイメント空間の感動を媒介として企業メッセージを発信することが可能です。	時間の限定されるスポーツイベント協賛とは異なり、恒常的にメッセージを発信すると共に、地域に貢献する姿勢を示すツールとして機能します。

３． サッカースタジアムの先行事例

企業イメージの革新、地域シンボル、企業認知度アップなど
ネーミングライツ（命名権）を活用した様々な取り組みが展開されています

味の素スタジアムが国内で初めて、公共施設へネーミングライツ（命名権）を導入した２００３年以降、全国的に普及が進み、現在では、Jリーグに所属する５５クラブのうち、４１クラブがネーミングライツ（命名権）を導入したスタジアムを主たるホームスタジアムとしています。

■味の素スタジアム

スポンサー事業者　　：味の素株式会社
ホームクラブ　　：FC東京、東京ヴェルディ1969
金額・契約期間　　：２.３億円×５年間（2019年3月～）

食料品メーカーの味の素が、若年層向けの新しい企業イメージの訴求を主目的にスポンサードし、「味スタ」の愛称で親しまれるなど、当初の戦略に沿った効果が得られています。

■フクダ電子アリーナ

スポンサー事業者　　：フクダ電子株式会社
ホームクラブ　　：ジェフユナイテッド市原千葉
金額・契約期間　　：3,000万円×５年間（2016年4月～）

医療機器メーカーのフクダ電子が、企業の認知度の向上と地域社会への貢献を狙いとしてスポンサーとなり、自社商品（AED）のPRの場としても活用しています。

■ポカリスウェットスタジアム

スポンサー事業者　　：大塚製薬株式会社
ホームクラブ　　：徳島ヴォルティス
金額・契約期間　　：2,500万円×５年間（2017年5月～）

医療品・食料品メーカーの大塚製薬が徳島県鳴門総合運動公園の命名権を取得し、公園名を「鳴門・大塚スポーツパーク」とするほか、ポカリスウェットスタジアムを含む、同公園の４つの施設に自社の商品名を冠しています。

■ニンジニアスタジアム

スポンサー事業者　　：ニンジニアネットワーク株式会社
ホームクラブ　　：愛媛FC
金額・契約期間　　：2,128万円×５年間（2019年3月～）

文具・事務用品の通信販売を行うニンジニアネットワークが「多くの県民にスポーツや文化に関心を持ってもらいたい」という想いから地域貢献の一環としてネーミングライツを取得しています。

４． 施設紹介（新規サッカースタジアム）

■概要

名称	仮称ライオンズランド スタジアム	
所在地	神奈川県横須賀市武３丁目３２番地１０	
管理者	ライオンズスポーツクラブ	
敷地総面積	１４,６７２.１２平方メートル	
施設構成	人工芝サッカー場１面、アップスペース、夜間ナイター照明、 クラブハウス１棟、駐車場７３台、観戦席、男女トイレ	
サッカー場面積	１０８m×６８m　他アップスペース、外周	
設置完了	２０２４年１月予定	
活用開始	２０２４年２月予定	

■アクセス（立地環境）

【車を利用したアクセス】

・JR衣笠駅から約10分
・京浜急行三浦海岸駅から約5分
・横浜横須賀道路「衣笠IC」から約5分
・横須賀市中心街へは約15分
・横浜駅へは約35分（横浜横須賀道路）
・羽田空港まで約45分（首都高速）
・千葉木更津まで65分（アクアライン）
・静岡御殿場まで80分（東名高速）

【公共交通機関を利用したアクセス】

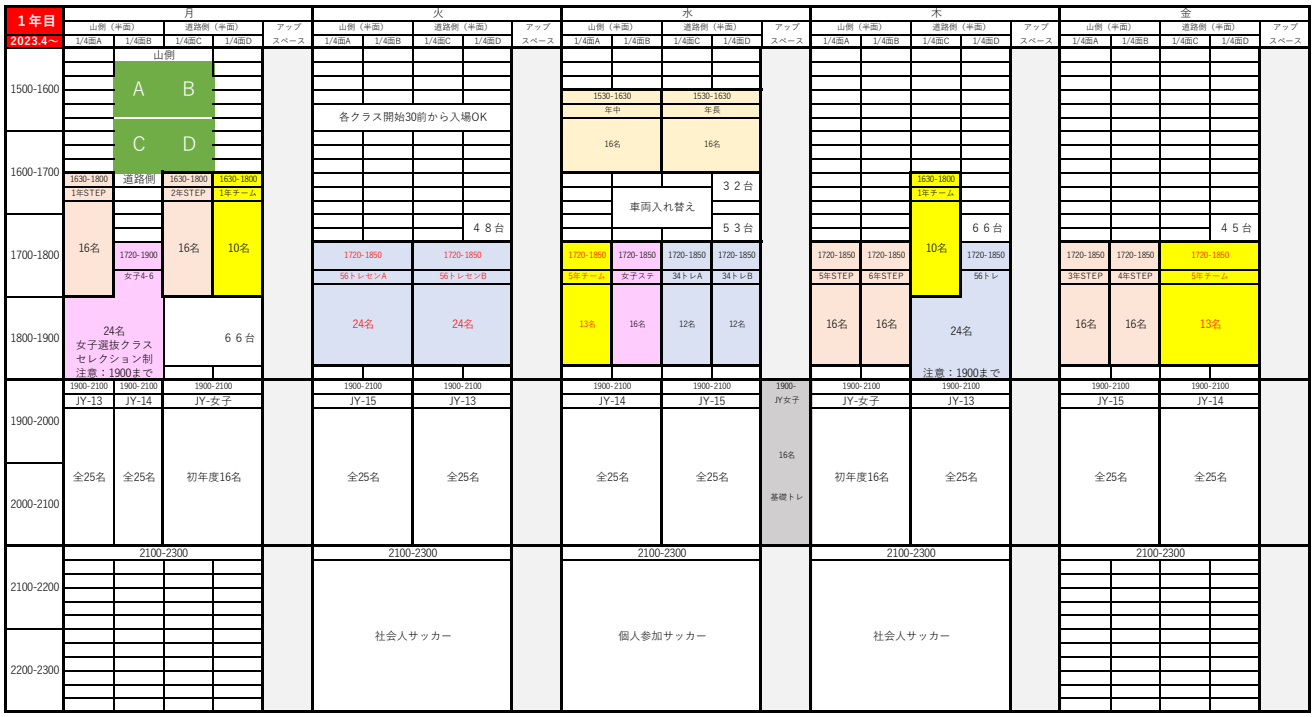
・JR衣笠駅よりバス利用15分
・京浜急行三浦海岸駅よりバス利用8分
・京浜急行横須賀中央駅よりバス利用25分

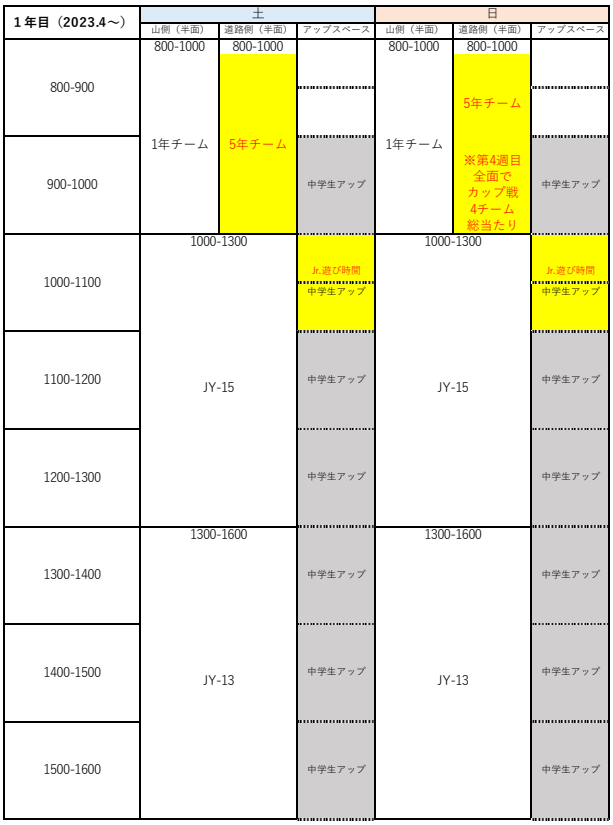
横浜横須賀道路からの好アクセス
また、他高速道路への乗り換えにより広範囲の誘致が可能

横須賀市内、神奈川県内の施設利用者が主となりますが、
年間で延べ９６,６７２人の利用動員数を想定しております。

5． 施設の活用スケジュール

■主要なイベントスケジュール参考（グラウンド活用の大半は既に計画されております）





※ 上記スケジュールに基づいた施設の利用者数は次項に記載します

６． 施設の利用者数と推移

企業イメージの革新、地域シンボル、企業認知度アップなど
ネーミングライツ（命名権）を活用した様々な取り組みが展開されています

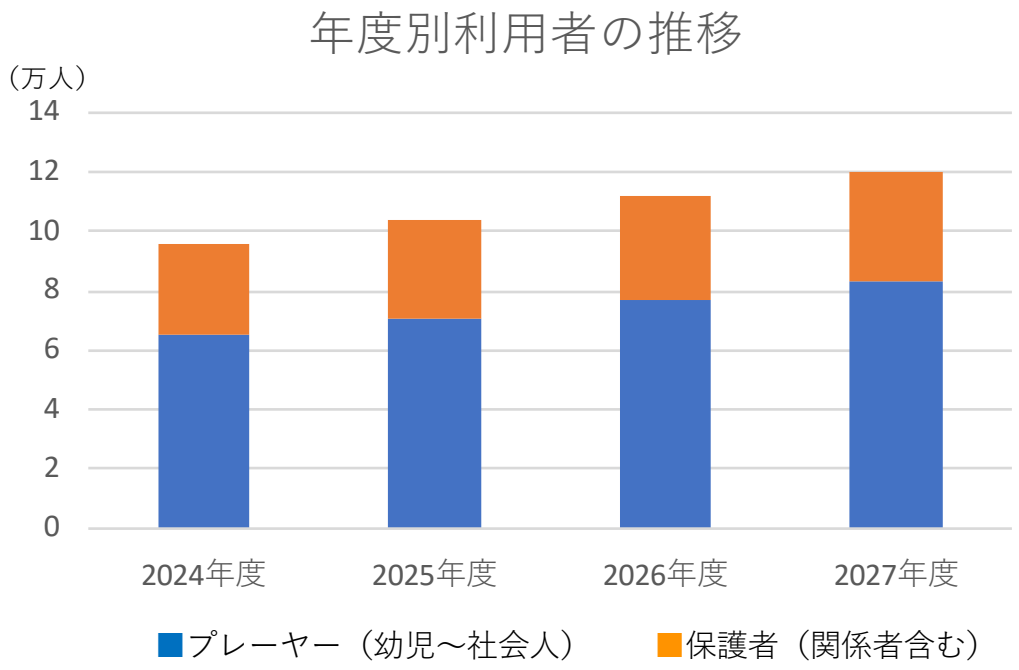
味の素スタジアムが国内で初めて、公共施設へネーミングライツ（命名権）を導入した２００３年以降、全国的に普及が進み、現在では、Jリーグに所属する５５クラブのうち、４１クラブがネーミングライツ（命名権）を導入したスタジアムを主たるホームスタジアムとしています。

■主要なイベント

イベント名	子供（付随する保護者）	合計人数（週）	合計人数（年）	区分
サッカースクール平日（幼児・小学生）	310人（保護者155人）	465人	22,320人	A
ライオンズSCチーム活動平日（中学生）	273人（保護者136人）	409人	19,632人	B
公式戦・土日祝（小中学生）	610人（保護者305人）	915人	43,920人	C
社会人（個人・チーム）平日土日祝	125人（関係者25人）	150人	7,200人	D
個人参加イベント（小中学生・高校・大学・社会人）	50人（関係者25人）	75人	3,600人	E

2024年度の年間利用者数（A＋B＋C＋D＋E）＝　96,672人

■年度別利用者数



７． ネーミングライツ（命名権）スポンサー募集について

■基本条件

契約希望金額

年間　９６０万円

※消費税及び地方消費税は別途となります。
※愛称掲出に伴う制作費等の費用は、命名権料とは別途負担となります。

契約期間

３年間

※契約終了以降の継続に関しましては優先交渉権がございます。

愛称使用開始の時期

未定
契約締結後、双方同意の上で速やかな使用開始を予定

※公募の開始につきましてはP13参照ください

愛称・呼称の条件

愛称）ライオンズランド ○○○ スタジアム
呼称）○○○スタジアム

※スポーツ施設にふさわしい愛称・呼称であることが条件となります。
※○○○は企業名、もしくは商品名として、双方合意のもとで決定します。

8． スポンサー特典

（1）施設名称に新たな愛称・呼称を付与する権利

サッカー スタジアムの「愛称・呼称」として、
事業者名または商品（ブランド）名を冠することができます

■ 募集する名称は施設の「愛称・呼称」であることから、施設の正式名称として登記するものではございません。

■新たな愛称の「ロゴマーク等の制作費」は、命名権料とは別途負担となります。
■呼称権：施設名称を使用することが可能です
例）弊社はライオンズランド〇〇スタジアムを応援しています

■商標権：施設ロゴを使用することが可能です
例）HPや名刺、事業所内等でPRすることが可能です

（2）スタジアム周囲、スタジアム内への「愛称看板」の掲出

■ 下記の３カ所に愛称看板を掲出することができます。

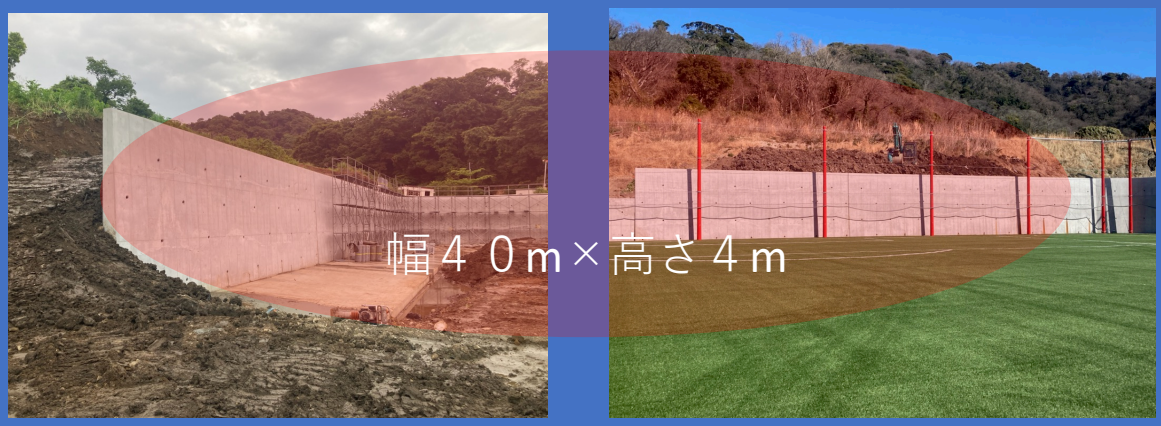
■ 看板の大きさについては協議（双方合意のもとで決定）が必要となります。
また、屋外広告物条例、景観法等に基づく横須賀市との協議が必要です。

■愛称掲出に伴う「看板制作費・設置費等の費用」は、命名権料とは別途負担となります。

（3）施設内部への広告看板掲出の権利

■ 下記の３カ所に広告看板を掲出することができます。
（広告看板に関しましては、基本的には事業者の商品に限りますが、双方の合意により決定します）

①グラウンド正面の大型壁面



命名権を所有するスポンサー企業は、グラウンド正面に位置する大型な壁面を活用して広告を掲出することができます。

グラウンド脇の主要道路から、また、グラウンドの入口から、最も目立つ大型の広告看板（４０ｍ×４ｍ）をご活用ください。

②③クラブハウスへのロゴマーク掲出（２カ所・夜間スポットライト有）

クラブハウスに「広告商品のロゴ」を掲出するスペースをご用意いたします。主要道路から、また、グラウンド内部からロゴがライトアップされます。

掲出内容については、景観法に基づく横須賀市との協議が必要となります。
また、掲出に伴う制作費等の費用は、命名権料とは別途負担となります。

（4）弊社施設のホームページでの愛称表示

ネット検索に伴う施設名の表示、また、弊社施設のホームページにて
新たな愛称が使用されます（ライオンズランド ○○○スタジアムに切替）

■ 現在は弊社が運営しているフットサル施設（横須賀フットサルパーク）のホームページとなりますが、グラウンド完成後はグラウンドの施設案内に切り替わります。

■チラシ・パンフレット等の紙媒体については、新たに発行するものから愛称表示を実施します。（主に施設会場名が記載される点で露出が広がります）

（5）愛称・呼称の発表

新規整備サッカースタジアムの完成を控え、地域情報誌に取り上げていただきました。

ネーミングライツ（命名権）スポンサーの決定後、新たに記事として地域情報誌に取り上げていただきたいと考えております。

タウンニュース

ホーム　横浜　川崎　相模原・東京多摩　県央

横須賀版　公開：2023年6月2日

武に本格サッカー場

地元クラブチームが自前整備

スポーツ

市内須軽谷に拠点を置くサッカークラブ「ライオンズＳＣ」（臼杵尊士代表）は、隣接する武３丁目の敷地にサッカー場「ライオンズランドスタジアム」を整備する。すでに工事は始まっており、今年７月中の供用開始予定。同クラブだけでなく、外部利用もできるよう調整を進めたいとしている。

建設中の新グラウンドのイメージ画像（ライオンズSC提供）

建設場所は、県道２１４号（武上宮田線）と西公園に挟まれた開発面積１４６７２・12平方メートルの敷地。近年は一部を除いて、そのほとんどが耕作放棄されていた農地で、国や市・個人など地権者は43筆にも及ぶ複雑な区画だったという。

新グラウンドは国際基準である１０５m×68mサイズ。人工芝でナイター照明のあるピッチ（１面）、アップスペース、73台の駐車場を完備する。総工費は約３億円。都内の協賛企業の支援を受けながら事業を進めており、代表の臼杵さんによると、規模の小さい民間スポーツクラブが公式サイズのグラウンドを自前で整備するケースは極めて稀だという。

約９年前から構想

同クラブには現在、園児から社会人まで約５００人が在籍。20m×40mの専用フットサルコート（ナイター／人工芝）を２面有しているが、フルピッチでの実戦を積みにくく、「練習や大会のたびに市外へ出ざるを得ない。場所によっては活動時間より移動時間の方が長くなることもある」と、臼杵さんは生徒の負担を憂慮する。

２０１３年４月、佐原２丁目公園に市内初となる公式サイズの市営人工芝サッカー場「横須賀リーフスタジアム」が完成して練習場所の選択肢は増えたが、「施設利用予約が高倍率でなかなか当たらず苦労していた」

こうした現状を踏まえて、「子どもたちのためにより良い練習環境を整備したい」と約９年前に土地探しに乗り出すも、好適地が見つからず難航。交渉や調査を重ねて、拠点に隣接する農地周辺が最終候補地となったという。

オープン予定は７月。運用開始後は、空き時間を活用した外部利用の受け入れや大会会場への提供も行いながら、地域のサッカー振興につなげていく考え。臼杵さんは「今後、グラウンドを使ってどのようなことができるか、様々な人たちと模索していきたい」と意欲を話した。

（6）命名権スポンサーの位置付けと種類

スポンサー種類	内容	件数	金額（年間）
プラチナ	命名権所有スポンサー	１社	税別9,600,000円
ブラック	大型広告スポンサー	４社	税別2,400,000円
ゴールド①	背中広告（上段）	１社	税別1,200,000円
ゴールド②	背中広告（裾）	１社	税別960,000円
ゴールド③	腕・鎖骨2・パンツ	全４社	税別600,000円
シルバー	施設２m看板掲出	全３０社	税別240,000円
ブロンド	企業プレート設置	全５０社	税別120,000円

■命名権所有スポンサーのその他の特典については、要望を受け可否を決定します。

９． ネーミングライツ（命名権）スポンサー応募資格

① 募集の趣旨に賛同し、「命名権スポンサー」となることを希望する法人
② 次の各号に該当する法人でないこと
ア）法令に違反している者
イ）国税、都道府県税または市町村税を滞納している者
ウ）市から指名停止を受けている期間中の者
エ）清算手続中の者、破産手続き中の者、再生手続中の者、構成手続中の者、承認援助手続中の者、または特別清算に関する手続中の者
オ）風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和２３年法律第１２２号）第２条第１項各号に規制する風俗営業、同条第５項に規定する性風俗関連特殊営業または同条第１１項に規定する接客業務受託営業を営む者
カ）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団
キ）政治または宗教に関する法人・団体
ク）インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律（平成１５年法律第８３号）第２条第３号に規定するインターネット異性紹介事業を行う者
ケ）特定商取引に関する法律（昭和５１年法律第５７号）第３３条第１項に規定する連鎖販売業または第５１条第１項に規定する業務提供誘引販売業を営む者
コ）特定商取引に関する法律第２条第１項各号に掲げる訪問販売、同条第２項に規定する通信販売または同条３項に規定する電話勧誘販売を業として営む者
サ）貸金業法（昭和５８年法律第３２号）第２条第１項に規定する貸金業を営む者
シ）法律に定めのない医業類似行為を行う者
ス）スポンサー事業者としてふさわしくないと弊社が考える者

１０． 選定方法

① 事前商談期間
2024年2月～7月の期間は「事前商談期間」として設け、広告事業者を通じて関係各所との商談を進めさせていただきます。

② 公募
2024年8月5日より公募・申込受付を開始（開始予定）とさせていただきまして、弊社が設置する「ライオンズランド スタジアム・ネーミングライツスポンサー選定委員会」において応募内容等を審査の上、優先交渉権者を選定します。（非公表）
選定基準は経営安定度を優先して審査するものとしますが、その他の審査項目、審査結果に関しましては非公表とさせていただきます。

③ 選定結果の通知
選定後、全ての応募者に文書で結果を通知いたします。
尚、応募くださった法人に関する内容等は全て非公表とさせていただきますので、弊社原因にて情報が漏洩することはございません。（正式に命名権スポンサーと決定した企業のみ公表とさせていただきます）

１１． 応募方法等

①質疑の受付・回答
ネーミングライツ（命名権）スポンサーに関する質疑を受付いたします。
質疑はメールにてお送りください。回答はメールにてご対応させていただきます。

質疑の受付メールアドレス　lions_sc_net@yahoo.co.jp（2024年6月1日より質疑受付開始）

② 応募方法
別紙「命名権スポンサー応募申込書」に必要事項を記入、また、申込書に記載した必要書類を添付の上、下記の書類提出先に持参または郵送により提出してください。
別紙「命名権スポンサー応募申込書」は2024年6月1日にHP掲載いたします。

③ 募集期間・申込書の提出期間
2024年8月5日（月）正午から2024年12月6日（金）正午までを募集の期間と定め、持参、郵送いずれの場合も期間内必着とさせていただきます。
（2024年12月6日を待たずに事業者の決定、募集終了となる場合もございますことを予めご了承ください）

④ 公募開始に伴うスケジュール
2024年6月1日：質疑メール受付開始
2024年8月5日：申込の受付開始
2024年8月5日～12月15日まで：ネーミングライツ（命名権）スポンサー事業者の選定
NEXT：ネーミングライツ（命名権）スポンサー契約の締結
NEXT：愛称呼称使用開始

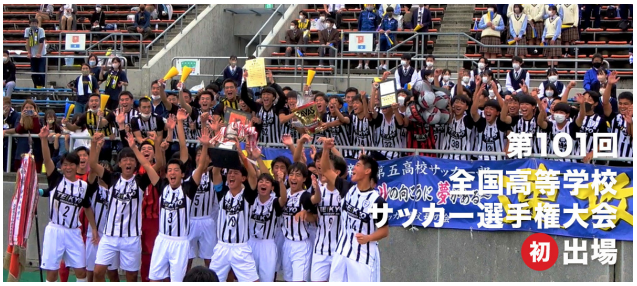
⑤ 書類提出先・問い合わせ先
株式会社ライオンズランド（ライオンズSC事務局）
238-0314　神奈川県横須賀市武3-32-10
問い合わせ　lions_sc_net@yahoo.co.jp

⑥ 留意事項
応募に必要な経費は、全額応募者の負担とします。
応募書類の返却はございません。また、応募者は全て非公表とさせていただきます。
（正式に命名権スポンサーと決定した企業のみ公表とさせていただきます）

１２． 弊社ご紹介

法人名	株式会社 横須賀フットサルパーク ※グラウンド完成後は株式会社ライオンズランドに法人名を変更予定
運営クラブ	一般社団法人ライオンズスポーツクラブ
代表	臼杵 尊士
設立	2011年2月（クラブ創設2005年）
資本金	2千万円
所在地	神奈川県横須賀市武3-32-10
電話	080-4587-8460（事務局直通）
ホームページ	http://www.yokosuka-park.com/
主業務	スポーツ施設運営、チーム・スクール運営・スポーツコンサルティング
従業員	10名

自社所有フットサル施設を拠点に、横須賀市内でサッカースクール・チーム活動を展開
現在450名の所属選手（幼児・小学生・中学生・高校生・社会人）
14年の活動を通じて、多くのクラブ卒団生たちが社会へ羽ばたいております



プロ選手の輩出だけでなく、立派な一社会人の輩出、地域貢献を掲げて取り組む弊社となりますが、
業務提携を結ぶ帝京第五高校（愛媛）が全国大会への出場を果たし、クラブ出身の子供たちのパワー、
多方面に渡る卒団生たちの活躍には、この先も継続した明るい未来が描かれると強く感じております。

弊社ご紹介-2

世界で活躍するトップアスリート、世界で活躍する人材を輩出しよう

弊社は、「子供たちが真剣に夢と向き合える環境を作りたい」と考え、トレーニング施設「横須賀フットサルパーク」を神奈川県横須賀市に2011年に構えました。
夢と希望溢れるスポーツ施設、付随するクラブ運営を展開しながら、子供たちの夢だけでなく、地域社会にとっての明るい未来に貢献できるよう、現在も挑戦を続けています。

そして、新たな夢への挑戦として始動してから10年、土地もお金もないところからのスタートでしたが、ようやく１つの大きなゴールであり通過点、叶えたい夢と描いていたフルピッチサイズの人工芝サッカーグラウンドが2024年に完成を迎えます。

神奈川や東京では、民間スポーツクラブが人工芝ナイターを完備する形でサッカーグラウンドを保有するケースは非常に稀であり、Jリーグクラブ以外には唯一とも言えます。
更に大きくなるであろう私たちの役割、また、周囲の方々から期待される役割を十分に理解しながら、子供のため、携わる方たちのため、地域社会のために全力で取り組み、その数々の取り組みを私たち自身が全力で楽しみたいと考えております。

私たちは意欲ある継続的な取り組みを約束し、様々な意欲を形に変えることで、預かる子供たちだけでなく、地域の皆様から信頼を集める組織として成長を続けたいと考えております。

■サッカー・フットサル指導と若年層の人格形成（教育）
スポーツを通じて多角的な学びを設け、可能性を引き出す・拡げるサポートを行う。

■指導者の育成と働く環境の提供（雇用）
指導者が安心して働ける環境を提供する。
また、雇用環境を整えることで、子供たちや施設、地域に還元される組織づくりを行う。

■世代を超えた地域コミュニティの創出（街づくり）
スポーツを通じた社会交流の場を提供する。
結果、人々の健康づくりや地域の活性化、安全化、「街づくり」に貢献する役割を担う。

１３．　グラウンドの活用・地域活性化プロジェクト

多岐に渡るグラウンドの活用を通じて、新しい未来を築いて参りたいと考えます

■サッカーグランドの活用（平日/土日）
☛地域の子供たちを対象にサッカー・フットサル指導（サッカースクール・チーム運営）
☛公式戦・練習試合を通じて県内外のプレーヤーが活用
年間96,000人の来場者見込（プレーヤー・保護者関係者）

■大人サッカー教室やホットヨガ教室の実施（個人・団体単位での受付）
☛平日午前、夜間で社会人枠を実施
☛土日夕方で少年少女や社会人枠を実施

■指導者のための交流講習会を実施
☛地域のサッカー指導者が身近に交流し、学べる環境を整備（平日昼間・土日夜間）
※実際に不足している点で、子供の為にも大人の交流・学ぶ環境を提供

■プロ選手・元プロ選手・監督等によるイベントの企画

■海外クラブの練習会（TRキャンプ）を誘致

■アパレルブランド、アーティスト等の出店によるイベント実施

■音楽イベントの実施

■大学サークル・ゼミの合宿誘致（練習やレクリエーションにてグランド活用）

■新入社員の研修合宿（コミュニケーション合宿）を誘致